



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月3日

上場会社名 江崎グリコ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2206 URL <https://www.glico.com/jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 江崎勝久  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 高橋真一 ファイナンス部長 TEL 06-6477-8404  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月4日 配当支払開始予定日 2023年9月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	153,135	10.1	8,086	17.6	10,229	28.4	7,817	65.5
2022年12月期第2四半期	139,147	—	6,877	△31.0	7,965	△28.8	4,723	△40.1

（注）包括利益 2023年12月期第2四半期 17,830百万円（0.4%） 2022年12月期第2四半期 17,758百万円（28.9%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	122.93	—
2022年12月期第2四半期	73.36	—

（注）2022年12月期第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。このため、2022年12月期第2四半期連結累計期間の売上高において、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	377,444	260,040	68.8
2022年12月期	369,056	244,760	66.2

（参考）自己資本 2023年12月期第2四半期 259,533百万円 2022年12月期 244,291百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2023年12月期	—	40.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2022年12月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当5円00銭

2023年12月期期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当5円00銭

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	327,000	7.6	16,000	24.6	17,000	24.6	10,000	23.5	157.26

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	68,468,569株	2022年12月期	68,468,569株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	4,878,181株	2022年12月期	4,877,747株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	63,590,628株	2022年12月期2Q	64,387,282株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	7
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社は、第1四半期連結会計期間の期首より組織再編に伴い報告セグメントを従来の「菓子・食品部門」「冷菓部門」「乳業部門」「食品原料部門」「海外部門」から、「健康・食品事業」「乳業事業」「栄養菓子事業」「食品原料事業」「国内その他事業」「海外事業」に変更しております。このため、前年同期数値につきましては、変更後のセグメント区分に組み替えて比較分析を行っております。

当第2四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年6月30日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の緩和が進み、経済活動の正常化に向けた動きが見られました。一方で、エネルギー・原材料価格の高騰、急激な為替変動等の影響が懸念され、また、世界的な金融引締めによる景気の下振れリスクが生じており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、存在意義（パーパス）である「すこやかな毎日、ゆたかな人生」の実現に向け価値創造を強化し、①健康価値の提供・お客様起点のバリューチェーンの構築、②注力領域への研究投資の集中、③海外事業の拡大に向け取り組みました。

その結果、売上面では、全てのセグメントで前年同期を上回ったため、当第2四半期連結累計期間の売上高は153,135百万円となり、前年同期（139,147百万円）に比べ10.1%の増収となりました。

利益面につきましては、売上原価率は、海外事業における中国で低下したこと等により前年同期に比べ0.3ポイント低下しました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝費、販売促進費等が増加しました。

その結果、営業利益は8,086百万円となり、前年同期（6,877百万円）に比べ1,209百万円の増益となりました。経常利益は営業利益段階での増益や為替差益等により、10,229百万円となり、前年同期（7,965百万円）に比べ2,263百万円の増益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,817百万円となり、前年同期（4,723百万円）に比べ3,093百万円の増益となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

(単位：百万円、%)

セグメント	売上高				営業利益			
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率(%)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率(%)
健康・食品事業	21,503	21,892	389	1.8	1,105	86	△1,018	△92.2
乳業事業	31,598	32,341	743	2.4	279	△250	△530	—
栄養菓子事業	27,489	28,584	1,095	4.0	2,614	2,835	220	8.4
食品原料事業	5,246	6,203	957	18.2	645	1,031	385	59.7
国内その他事業	28,671	30,398	1,727	6.0	349	866	516	148.0
海外事業	24,638	33,713	9,074	36.8	△322	1,905	2,227	—
調整	—	—	—	—	2,205	1,612	△592	△26.9
合計	139,147	153,135	13,987	10.1	6,877	8,086	1,209	17.6

(注) 調整の内容は、セグメント間取引消去・その他調整額及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

## &lt;健康・食品事業&gt;

売上面では、“DONBURI亭”“SUNAO”等は前年同期を下回りましたが、“パピコ”“アーモンド効果”等が前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は21,892百万円となり、前年同期（21,503百万円）に比べ1.8%の増収となりました。

利益面では、広告宣伝費の増加等により、営業利益は86百万円となり、前年同期（1,105百万円）に比べ1,018百万円の減益となりました。

#### <乳業事業>

売上面では、“牧場しぼり”“朝食りんごヨーグルト”等は前年同期を下回りましたが、“セブンティーンアイス”“ジャイアントコーン”等が前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は32,341百万円となり、前年同期（31,598百万円）に比べ2.4%の増収となりました。

利益面では、売上原価率の上昇等により、営業損失は250百万円となり、前年同期（279百万円）に比べ530百万円の減益となりました。

#### <栄養菓子事業>

売上面では、“ビスコ”“神戸ローストショコラ”等は前年同期を下回りましたが、“ポッキー”“プリッツ”等が前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は28,584百万円となり、前年同期（27,489百万円）に比べ4.0%の増収となりました。

利益面では、増収に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は2,835百万円となり、前年同期（2,614百万円）に比べ220百万円の増益となりました。

#### <食品原料事業>

売上面では、「小麦たん白」「澱粉」等が前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,203百万円となり、前年同期（5,246百万円）に比べ18.2%の増収となりました。

利益面では、増収及び売上原価率の低下等により、営業利益は1,031百万円となり、前年同期（645百万円）に比べ385百万円の増益となりました。

#### <国内その他事業>

売上面では、卸売販売子会社の売上高、「オフィスグリコ」等が前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は30,398百万円となり、前年同期（28,671百万円）に比べ6.0%の増収となりました。

利益面では、増収及び売上原価率の低下等により、営業利益は866百万円となり、前年同期（349百万円）に比べ516百万円の増益となりました。

#### <海外事業>

売上面では、地域別において、中国、ASEAN、米国等で前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は33,713百万円となり、前年同期（24,638百万円）に比べ36.8%の増収となりました。

利益面では、増収に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は1,905百万円となり、前年同期（営業損失322百万円）に比べ2,227百万円の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は377,444百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,388百万円増加しました。流動資産は175,940百万円となり、2,227百万円減少しました。主な要因は、商品及び製品等が増加しましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金等が減少したことによるものです。固定資産は201,504百万円となり、10,615百万円増加しました。主な要因は、投資有価証券、機械装置及び運搬具の増加等によるものであります。

#### 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は117,404百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,892百万円減少しました。主な要因は、未払費用、支払手形及び買掛金の減少等によるものであります。

#### 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は260,040百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,280百万円増加しました。主な要因は、剰余金の配当により2,543百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益7,817百万円を獲得したこと及びその他有価証券評価差額金が3,251百万円、為替換算調整勘定が6,125百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は68.8%（前連結会計年度末比2.6ポイント上昇）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、2023年2月14日の「2022年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想数値を以下のとおり修正いたします。

2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）の連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	317,000	16,000	17,000	10,000	157.26
今回修正予想（B）	327,000	16,000	17,000	10,000	157.26
増減額（B－A）	10,000	0	0	0	－
増減率（％）	3.2	0.0	0.0	0.0	－
（ご参考） 前年通期実績	303,921	12,845	13,646	8,099	126.59

売上面につきましては、海外事業における中国、米国での売上が堅調に推移していること等から当初の予想を上回る見込みです。

利益面につきましては、売上高増加による増益はありますが、原材料価格の上昇や販売促進費、広告費の増加等を見込んでおり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも当初予想に変更はありません。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	91,705	86,622
受取手形及び売掛金	45,372	42,146
有価証券	226	237
商品及び製品	17,861	22,028
仕掛品	891	1,053
原材料及び貯蔵品	14,093	14,528
その他	8,130	9,437
貸倒引当金	△113	△114
流動資産合計	178,168	175,940
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	41,225	40,848
機械装置及び運搬具（純額）	34,538	37,729
工具、器具及び備品（純額）	4,702	4,901
土地	15,984	16,130
リース資産（純額）	2,161	2,604
建設仮勘定	11,426	9,269
有形固定資産合計	110,038	111,483
無形固定資産		
ソフトウェア	4,401	4,100
ソフトウェア仮勘定	16,746	18,475
のれん	352	353
その他	181	167
無形固定資産合計	21,682	23,096
投資その他の資産		
投資有価証券	39,265	46,330
退職給付に係る資産	4,432	4,590
投資不動産（純額）	12,214	12,246
その他	3,295	3,814
貸倒引当金	△39	△58
投資その他の資産合計	59,168	66,924
固定資産合計	190,888	201,504
資産合計	369,056	377,444

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,430	32,957
未払費用	24,789	20,560
未払法人税等	2,562	2,490
返金負債	7,256	7,834
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	—	30,012
役員賞与引当金	73	—
その他	8,762	7,014
流動負債合計	79,875	100,869
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	30,023	—
退職給付に係る負債	1,350	1,422
繰延税金負債	6,633	8,415
その他	6,414	6,696
固定負債合計	44,421	16,534
負債合計	124,296	117,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	9,894	9,894
利益剰余金	217,184	222,458
自己株式	△13,806	△13,808
株主資本合計	221,046	226,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,945	14,196
繰延ヘッジ損益	△59	628
為替換算調整勘定	11,756	17,882
退職給付に係る調整累計額	602	507
その他の包括利益累計額合計	23,245	33,215
非支配株主持分	468	507
純資産合計	244,760	260,040
負債純資産合計	369,056	377,444



(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	139,147	153,135
売上原価	87,696	96,090
売上総利益	51,451	57,044
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	12,740	12,492
販売促進費	3,928	4,789
広告宣伝費	3,753	5,302
給料及び手当	9,153	9,945
退職給付費用	128	214
その他	14,869	16,214
販売費及び一般管理費合計	44,574	48,958
営業利益	6,877	8,086
営業外収益		
受取利息	188	290
受取配当金	365	325
為替差益	—	756
補助金収入	416	225
不動産賃貸料	262	306
その他	832	1,033
営業外収益合計	2,065	2,938
営業外費用		
支払利息	45	44
寄付金	32	244
為替差損	55	—
投資事業組合運用損	102	205
固定資産除却損	71	105
固定資産廃棄損	256	9
債務保証損失引当金繰入額	122	—
その他	289	186
営業外費用合計	977	795
経常利益	7,965	10,229
特別利益		
投資有価証券売却益	20	—
特別利益合計	20	—
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	476	—
子会社清算損	—	30
特別損失合計	476	30
税金等調整前四半期純利益	7,510	10,198
法人税、住民税及び事業税	2,753	2,290
法人税等調整額	21	66
法人税等合計	2,775	2,356
四半期純利益	4,734	7,841
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,723	7,817
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	24

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,974	3,251
繰延ヘッジ損益	812	688
為替換算調整勘定	9,689	5,416
退職給付に係る調整額	△117	△95
持分法適用会社に対する持分相当額	665	728
その他の包括利益合計	13,023	9,989
四半期包括利益	17,758	17,830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,718	17,787
非支配株主に係る四半期包括利益	40	43

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、この変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

（追加情報）

（グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用）

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2022年1月1日至2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	健康・ 食品 事業	乳業 事業	栄養 菓子 事業	食品 原料 事業	国内 その他 事業	海外 事業	計		
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	21,503	31,598	27,489	5,246	28,671	24,638	139,147	—	139,147
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	21,503	31,598	27,489	5,246	28,671	24,638	139,147	—	139,147
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	114	5,312	—	5,426	△5,426	—
計	21,503	31,598	27,489	5,361	33,983	24,638	144,574	△5,426	139,147
セグメント利益又は損 失(△)	1,105	279	2,614	645	349	△322	4,672	2,205	6,877

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額2,205百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額757百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等1,447百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自2023年1月1日 至2023年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	健康・ 食品 事業	乳業 事業	栄養 菓子 事業	食品 原料 事業	国内 その他 事業	海外 事業	計		
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	21,892	32,341	28,584	6,203	30,398	33,713	153,135	—	153,135
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	21,892	32,341	28,584	6,203	30,398	33,713	153,135	—	153,135
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	152	4,831	—	4,983	△4,983	—
計	21,892	32,341	28,584	6,356	35,230	33,713	158,119	△4,983	153,135
セグメント利益又は損 失 (△)	86	△250	2,835	1,031	866	1,905	6,473	1,612	8,086

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額1,612百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額962百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等650百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、組織再編に伴い報告セグメントを従来の「菓子・食品部門」「冷菓部門」「乳業部門」「食品原料部門」「海外部門」から、「健康・食品事業」「乳業事業」「栄養菓子事業」「食品原料事業」「国内その他事業」「海外事業」に変更しております。なお、これらのセグメント変更に伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを記載しております。

# 決算短信補足説明資料

-23年12月期 第2四半期決算-

江崎グリコ株式会社  
Ezaki Glico Co., Ltd.

連結経営成績 (百万円未満、百万元未満、百万米ドル未満は切り捨て)

(1)売上高・利益の概況

単位：百万円

	22/12期 (1月-6月)	23/12期 (1月-6月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	139,147	153,135	13,987	10.1
営業利益	6,877	8,086	1,209	17.6
経常利益	7,965	10,229	2,263	28.4
当期純利益	4,723	7,817	3,093	65.5

(2)営業利益の状況

単位：百万円

	22/12期		23/12期	
	(1月-6月)	売上比(%)	(1月-6月)	売上比(%)
売上高	139,147	100.0	153,135	100.0
売上原価	87,696	63.0	96,090	62.7
売上総利益	51,451	37.0	57,044	37.3
運賃保管料	12,740	9.2	12,492	8.2
販売促進費	3,928	2.8	4,789	3.1
広告費	3,753	2.7	5,302	3.5
人件費・厚生費	14,722	10.6	15,544	10.2
経費・償却費	9,429	6.8	10,829	7.1
販売費及び一般管理費	44,574	32.0	48,958	32.0
営業利益	6,877	4.9	8,086	5.3

営業利益の増減要因	対22/12期 (1月-6月)	
		内 国内
①売上高増減による増減益	6,008	2,023
②原材料価格変動による増減益	▲ 3,886	▲ 3,879
③原価のその他変動による増減益 *	2,191	3,103
④運賃保管料比率変動による増減益	1,528	441
⑤販売促進費・広告費増減による増減益	▲ 2,410	▲ 1,213
⑥一般管理費増減による増減益	▲ 2,222	▲ 1,492
合計	1,209	▲ 1,018

\* 販売品種構成の変化等の増減益を含む

(3)セグメント別売上高の状況

単位：百万円

		22/12期 (1月-6月)	23/12期 (1月-6月)	前年同期比	
				金額	増減率(%)
健康・食品事業	健康	6,091	6,144	52	0.9
	アイスクリーム	7,339	8,142	803	10.9
	その他	8,072	7,605	▲ 467	-5.8
	計	21,503	21,892	389	1.8
乳業事業	発酵乳	6,271	5,941	▲ 330	-5.3
	アイスクリーム	11,833	12,717	883	7.5
	その他	13,493	13,683	190	1.4
	計	31,598	32,341	743	2.4
栄養菓子事業	チョコレート	15,715	16,290	574	3.7
	ビスケット	9,301	9,526	225	2.4
	その他	2,471	2,767	295	12.0
	計	27,489	28,584	1,095	4.0
食品原料事業		5,246	6,203	957	18.2
国内その他事業		28,671	30,398	1,727	6.0
海外事業		24,638	33,713	9,074	36.8
合計		139,147	153,135	13,987	10.1

## (4)セグメント別営業利益の状況

単位：百万円

	22/12期 (1月-6月)	23/12期 (1月-6月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
健康・食品事業	1,105	86	▲ 1,018	-92.2
乳業事業	279	▲ 250	▲ 530	-
栄養菓子事業	2,614	2,835	220	8.4
食品原料事業	645	1,031	385	59.7
国内その他事業	349	866	516	148.0
海外事業	▲ 322	1,905	2,227	-
調整	2,205	1,612	▲ 592	-26.9
合 計	6,877	8,086	1,209	17.6

## (5)海外事業 - 地域別の売上高、営業利益

\* 以下の数値については、管理会計上の数値であり連結財務諸表数値とは異なります。  
また、地域区分についても連結財務諸表とは異なります。

## ◆中国

単位：百万円

	22/12期 (1月-6月)	23/12期 (1月-6月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	430	694	263	61.2
営業利益	▲ 47	56	103	-

## ◆ASEAN

単位：百万米ドル

	22/12期 (1月-6月)	23/12期 (1月-6月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	56	68	11	19.6
営業利益	▲ 3	▲ 0	2	-

※22年12月期2Qの実績は、23年12月期2Qの平均レートで置き換えています。

## ◆米国

単位：百万米ドル

	22/12期 (1月-6月)	23/12期 (1月-6月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	54	58	4	8.5
営業利益	13	9	▲ 4	-32.6

※米国については、連結ベースの数字です。